

企業を伸ばす 地域を活かす2

〈墨田区編〉

⑤

東京・名古屋・大阪のネットワーク 活かし販路開拓支援

私が担当している墨田区は、東京都23区内でも3本指に入る製造業が多い地域です。

業種では、金属加工業や繊維業が多く、水泳帽子で国内トップシェアの水泳用品・介護用品・健康インナーメーカーのフットマーク（墨田区緑）も当社の投資先企業。同社は、お客様1人ひとりの声を丁寧に、謙虚に受け取り、ものづくりにつなぐ「1分の1の視点」を信条にしている素晴らしい企業です。

こうした地域の投資先企業の成長をサポートするために、経営者に寄り添う株主の立場から、1社1社手づくりの支援を行っています。

たとえば、高層ビルの建設に欠かせないタワークレーン用クライミング架台などのニッチ分野で活躍している吉永機械

（墨田区緑）からは、「上司と部下との意思伝達やコミュニケーションをテーマにした社員研修を行いたい」と相談を受けました。そこでセミナーや研修の企画運営を行っている当社のビジネスサポート部と連携し、最適な講師を紹介。研修の成功に貢献することができました。

また、自社ブランド「ACE」の建築金物・建築資材の卸売を手がける杉田エース（墨田区緑）に、当社の姉妹会社である名古屋中小企業育成の投資先企業のエクステリア・園芸用品メーカーを紹介し、ビジネスマッチングを行いました。当社には大阪にも同じ法律のもと設立された姉妹会社の大阪中小企業投資育成があり、東京、名古屋、大阪のネットワークを活用した販路開拓支援にも積極的に取り組んでいます。

私のモットーは「迅速かつ丁寧に」です。課題が明確な相談事には早く正確な回答を心がけています。また、「取りあえず投資育成に相談してみよう」と、自社でも課題を絞り込めていないやや漠然とした相談事をして下さったときは、とくに急いで情報を集め、一両日中に自分なりの回答をお伝えするようにしています。それは、投資先企業の気持ちが冷めないうちに回答したいからです。

若手でも担当者として頼っていただくことが大きなやり甲斐。「年齢には関係なく、求められているものを投資先企業にお返ししたい」と思う気持ちが、自分のやる気やモチベーション、成長につながっていると日々感じています。



東京中小企業投資育成 業務第1部
主任

松本 将さん(24歳)

1993年8月群馬県生まれ
2016年3月慶應義塾大学経済学部卒業
2016年4月東京中小企業投資育成入社
業務第1部（墨田区担当）に配属され、現在に至る